

著書紹介

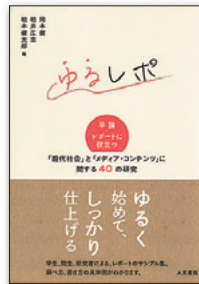
著者自らが新刊を紹介します。



自然と人生とのあいだ
—自然主義文学の生態学

創造表現学部・教授・永井 聖剛

- ▶ 四六判 ▶ 384ページ ▶ 春風社
- ▶ 本体4,291円＋税 ▶ 2022年1月26日発行
- ▶ <自然>という語の類化性能が日本近代文学において果たした役割とは。「日本自然主義文学」を<自然>をめぐる近代思想という新たな視点から読みかえる試み。



ゆるレポ:卒論・レポートに役立つ
「現代社会」と「メディア・コンテンツ」に
関する40の研究

創造表現学部・准教授・松井 広志(共編著)

- ▶ 四六判 ▶ 206ページ ▶ 人文書院
- ▶ 本体1,800円＋税 ▶ 2021年11月30日発行
- ▶ 「ゆるく始めて、しっかり仕上げる」をテーマとした、レポートの教科書。書き方の基本や資料の扱い方、調査方法、研究のコツなどが述べられている。最大の特徴として、学部生・院生・教員といったさまざまな立場の著者による実例を多数(40本)収録。



英語音声学・音韻論
—理論と実践—

グローバル・コミュニケーション学部
教授・中郷 慶(分担執筆)

- ▶ A5判 ▶ 349ページ ▶ 大阪教育図書
- ▶ 本体2,500円＋税 ▶ 2022年3月26日発行
- ▶ 音声学、音韻論、音声学・音韻論と外国語教育の3つのテーマとした学部中上級や大学院修士課程向けの教科書。全13章のうち、イギリス、アメリカ、オーストラリアなど、世界のさまざまな英語の発音の特徴を扱う「世界の英語」(第8章)の責任執筆者を務める。



トーキョーサバイバー

交流文化学部・准教授・二文字屋 脩

- ▶ 四六判 ▶ 274ページ ▶ うつづ堂
- ▶ 本体2,500円＋税 ▶ 2022年3月31日発行
- ▶ ホームレスからホームを問い直す! 新宿の路上に暮らす人びとの声に耳を傾けることで見てきた私たちの「アタリマエ」とは? ホームを問い直すことで、差別や偏見を乗り越えていくための方途を探る、新しい形の「ボランティア」。